



西中学校通信

第18号

自主的に考え、正しく行動できる生徒

<自立と自律>

「一本の杭^{くい}」

大きな濁った流れが暴れ回るとき、そこに、一本の杭が立っている。

その一本の杭が、濁った流れに小さな変化を与え、少しずつ状況を変えていく。

私も、自分のいる場所で、このような一本の杭になりたい。

大きな濁った川が氾濫し、好き勝手に暴れ回るときその川の中に立っている「一本の杭」は、何の役にも立たないと思われがちである。

しかし、暴れ回るその流れに逆らいながら立ち続ける小さな一本の杭が、小さいけれど、確かに、その流れに影響を与えるだろう。

小さな弱い一本の杭が、ひとつ、もうひとつと増えていけば、大きな濁った流れに与える影響も少しずつ大きくなっていくことだろう。

大きな流れに逆らうことは、勇気がいることだ。ましてや、自分一人で逆らうとなれば、勇気が出ないことも理解できる。

そして、一本の杭になろうと勇気を出したが、その流れに飲み込まれてしまうこともあるだろう。

一本の杭になることとは、大きな流れを止めることではない。小さな弱い杭でも、大きな流れに変化を与えられる役割があるのではないか。

今、自分のいる場所に、濁った流れはないだろうか。

一本の杭になろうとしたとき、濁った流れを止められなくてもいいのだ。自分ができることをやるのが、一本の杭になることだと思う。

そして、一本の杭にはなれなくても（行動できなくても）、心だけは、濁った流れに加担したくないと思いたい。

一本の杭

だくりゅうとうとう
濁流蕩々として
ほんりゅう
奔流するとき

**そこに立つ
一本の杭**

**それが流れを変え
中州をつくり
新天地をつくる**

**我 その場所の
一本の杭とならん**
※出典不明

百人一首大会(1・2年生)

1月26日(木)に1年生が、1月27日(金)に2年生が百人一首大会を実施しました。どちらの学年も学級対抗形式で実施し、生徒たちは、とても楽しそうに取り組んでいました。これから年度末にむけ、今の学級で取り組む行事がほとんどなくなってきました。学年・学級のまとめとしても意味のある行事を実施でき、よかったと考えています。



西中生の活躍

●狭山市図工・美術作品展

<入選> 36名

●狭山市児童生徒作品展

<佳作> 19名

●狭山市書き初め展覧会

<特選> (県展出品)

2年生 1名

<金賞>

1年生 3名

2年生 2名

3年生 1名

<銀賞>

1年生 7名

2年生 7名

3年生 11名